

# 令和5年度 第1回 学校運営協議会 議事録

記録担当 吉野

## ○委員構成（敬称略）

向井 秀幸（大阪成蹊短期大学講師）、 石橋 孝之（島本町立第二中学教頭）、  
花田 純子（島本町民生委員児童委員協議会会員）、岩井 均（元島本町青少年指導員協議会会長）、  
永田 博和（本校同窓会会計）、 宮原 和美（本校PTA会長）、  
竹田 賢司（本校校長）、 南出 孝明（本校教頭）、 下田 耕平（本校事務長）、  
佐々木 哉司（本校首席）、 札木 理（本校首席）

○日時：令和5年6月16日（金）14:00～

○場所：会議室

○内容：14:00～14:25 学校運営協議会①

14:25～15:15 授業見学

15:25～16:00 学校運営協議会②

## ○出席者（敬称略）

向井 秀幸、 石橋 孝之、 花田 純子、 岩井 均、 永田 博和、  
竹田 賢司、 南出 孝明、 下田 耕平、 佐々木 哉司、 札木 理、  
吉野 敦子（記録）

## 1、会長挨拶

会長・副会長の選任

南出教頭から会長に向井先生、副会長に石橋先生への推薦があり、承認。

## 2、校長挨拶

## 3、議案

（1）令和5年度 学校経営計画について

竹田校長より資料に沿って説明があり、承認。

（2）令和4年度 進路状況について

札木首席より資料に沿って説明

【質問】3年生進路集中講座にはどれくらいの企業、学校が来たのか

【回答】企業は5社、大学はそれよりも多めに来られた。

【質問】2年生で例年より進学希望が少ない理由は。

【回答】懇談の情報の分析はこれからなので今のところわからないが、例年オープンキャンパスに参加することで進学を考える生徒が増える流れがあるので、今年度もそのように指導を行っていく。

【質問】AO入試など大学の新規開拓が増えた理由は

【回答】例年の指導では、まず指定校推薦で進学できる大学を探していたが、今はまずオー

ブンキャンパスで行きたい大学を決め、AO など入試方法を探す生徒が多い。昨年度は公募推薦で合格した生徒はいなかったが、今後出てくるのではと考えている。

・ 議事を中断し、授業見学（6限の時間帯）

(3) 令和4年度 生徒指導状況について

札木首席より資料に沿って説明

【質問】遅刻、頭髪や服装指導が重なると指導が重くなるのは回数をもとにしているのか

【回答】登校遅刻は5回ごとに段階を上げて指導し20回で停学になるが、トライ制度という朝8時30分までに登校する回数がたまればカウントを減らす救済措置がある。授業遅刻指導は1週間で4回以上。指導に従わないときは段階が上がる。

【質問】今、頭髪や服装指導についてはいろいろな議論がある。島本高校ではどのように定めているのか

【回答】頭髪については個人差があるため、髪の色が明るい生徒は合格者説明会の日に自毛登録と髪色の写真を撮り対応する。また頭髪チェックの際は、各学年の担当教員が複数でチェックを行う。

(4) 授業アンケートについて

南出教頭より資料に沿って説明

(5) 令和6年度 教科書選定について

南出教頭より資料に沿って説明

5. その他

6. 質疑応答及び意見交換

授業見学について

- ・ 2年生は元気で、3年生は落ち着いた印象をもった。先生の説明が非常に丁寧。数学は友人同士で教えあうことでコミュニケーションがとれ、学びがより深まると感じた。

保育専門コースは生徒がよく授業に取り組んでいた。自分の仕事柄、ひとりでも多くの生徒の保育系進学につながっていければと思った。

- ・ 社会常識の授業は自分自身の勉強にもなった。就職する生徒も多い中、社会に出たときに役立つことを授業で学べるのはとても良いと思う。

保育は島本高校の売りなので、なくなるのは惜しい。子供が保育の仕事をしていることもあり親しみを感じているので、子供たちが保育関係の仕事をする事になれば嬉しい。

- ・ 言葉遣いなど、社会で学ぶことを授業で学べるのが良かった。保育の授業も、「字を丁寧に書く」ことは社会人として第一印象が良くなるので良いと思った。

- ・ 2年生の印象はまず人数が少ない、それだけに全員が授業に参加し、先生とコミュニケーションがとれていた。3年生は子供同士で教えあう授業が印象的。これから進学希望の生徒が増えるので

はと感じた。

- ・ 社会常識の授業は、子供に答えを教えるだけでなく、なぜそれが正解なのかを考えさせるようにすればより良くなるのでは。
- ・ 保育の授業について、実際に子供と触れ合うことができるのはとても良いと思う。保育実習もぜひ実施してほしい。

## 7. 日程の確認

南出教頭より資料に沿って説明